

生活が観光資源になる時代

開催概要

当財団が毎年「日本人の海外旅行の実態と志向」について調査・分析し、その結果をまとめた『JTB REPORT』の概要紹介と、海外旅行の最新動向・現状の問題解決に向けての情報提供の場として開催するセミナーである。2001年度は、好調を持続している海外旅行市場の水面下ですすむマーケットの構造変化を形づくる要因を分析するとともに、同時進行する質的变化について、好調なアジア方面への旅行ブームの本質を旅行者の旅の楽しみ方や意識、ライフスタイルの変化といった視点から各方面の専門家を交え、パネル討論を行った。

担当者/小林英俊 種田守孝 巻山隆

日時：2001年7月30日 13:30～17:30

場所：経団連会館 11F 国際会議場（東京 大手町）

主催：財団法人日本交通公社

後援：ジェイアイ傷害火災保険株式会社、株式会社 JTB ワールド

協力：株式会社 JTB

プログラム

●基調報告「2002年の日本人海外旅行の実態と志向 『JTB REPORT2001』」

史上最高の出国者！その構造を解析する

(財)日本交通公社 観光マーケティング部長 小林英俊

2000年の海外旅行者数は1,782万人と史上最高を記録しました。年齢層別にみてもすべての層で前年を上回り、表面的には極めて順調なものに見えます。しかし、ここ数年我々が指摘しているマーケットの構造変化は依然として継続しています。昨年の旅行者数の順調な伸びも、いくつかの要因が複層的に重なった結果なのです。基調報告では、JTB REPORT の調査・分析データをもとに、複層化している海外旅行者数の増加要因、構造変化の進むマーケット構造等について詳しく解き明かしていきました。

●パネルディスカッション「アジアが変えた観光のまなざし」

パネラー：三浦展氏（カルチャースタディーズ 主宰マーケティング・プランナー）

村瀬千文（㈱森拓之事務所 ホテルジャンキーズクラブ代表）

なかち氏（「GO for ASIA! (ゴーアジ)」HOME PAGE 管理人）

コーディネーター：小林英俊

今のアジアブームはどこからきているのでしょうか？
パネルディスカッションでは、「安・近・短」という言葉のみでは説明することのできないアジアブームの本質を、アジアを透して見えてくる旅行者の目線の変化、生活とのかかわり方などの観点から解き明かしました。パネラーには、会社勤めの傍らアジアの旅行情報、生活情報にこだわったホームページを作成・管理しているなかち氏、アジアリゾートを始め、世界のホテル事情に詳しい村瀬氏、雑誌「アクロス」編集長などの経験を通じ、各世代のライフスタイル分析に詳しい三浦氏をお招きしました。

参加者概要

参加者数：228名

(内訳) 一般参加120名、招待55名、JTB53名